

つぎの 文しょうを 読んで、もんだいに 答えましょう。

妹が、クレヨンで絵をかくていた。

「見て見て、上手でしょう。」

のぞいてみると、まると線ばかりで、何の絵かさっぱり分らない。

「なに、これ。ぐちゃぐちゃじゃん。」

ぼくがわらうと、妹は口をぎゅっとおすんで、絵をうしろにかくしてしまった。

夜、お母さんが、ぼくをよんだ。

「これ、見てごらん。」

れいぞうこに、さっきの絵がはってあった。よく見ると、大きなまるが四つ、ならんで手をつないでいる。いちばん右のまるには、ぼうしのようなものがかいてあった。

「お父さんと、お母さんと、妹と……。」

そのぼうしは、ぼくがいつもかぶっている、青いぼうしだった。

ぼくは、妹のへやへ行った。妹は、ふとんの中で、まだ口をとがらせていた。

「さっきは、ごめん。あの絵、ぼくもいたんだね。」

妹は、ふとんから顔を半分出して、こくんとうなずいた。

(このもんだいのための書きおろし)

(一) 妹の絵は、はじめ、ぼくにはどう見えましたか。文しょうから十字まで書きぬきましょう。

ま	る	と	線	ば	か	り

(二) 「口をぎゅっとおすんで」とありますが、このときの妹の気持ちとして、あうものをア～ウから一つえらびましょう。

ア 絵をほめられて、うれしい気持ち。

イ ねむくて、早くねたい気持ち。

ウ ぼくにわらわれて、かなしくやさしい気持ち。

ウ

(三) いちばん右のまるにかいてあったぼうしは、何でしたか。文しょうから二十字まで書きぬきましょう。

ぼ	く	が	い	つ	も	か	ぶ	っ	て	い	る	、	青	い
う	し													

(四) ぼくが妹に「ごめん」とあやまったのは、なぜですか。三十五字まで書きましょう。

い	妹	の	絵	は	家	ぞ	く	の	絵	で	、	ぼ	く	も	か
て															
あ															
っ															
た															
と															
分															
か															
っ															
た															
か															
ら															
。															

【小2】国語 文章問題 物語文 2 答えと解説

問一（二十五点） 答え：まると線ばかり

解説：三つ目のまとりから。

問二（二十五点） 答え：ウ

解説：すぐまえに、ぼくが「ぐちゃぐちゃじゃん」とわらっている。

問三（二十五点） 答え：ぼくがいつもかぶっている、青いぼうし

解説：「そのぼうしは」ではじまる文から。いちばん右のまるは、ぼくだった。

問四（二十五点） 答えの例：妹の絵は家ぞくの絵で、ぼくもかいてあったと分かったから。

解説：れいぞうこの絵を見て、ぼくは絵の中に自分がいることに気がついた。二つが入っていれば正かい。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

- ①妹の絵は、家ぞく（みんな）の絵だった
- ②ぼくもかいてあったのに、わらってしまった